

令和元（2019）年度
図書館利用アンケート調査（館外）
報 告 書

八尾市立図書館

目 次

第1章 調査の概要

1-1	調査目的	1
1-2	調査対象	1
1-3	調査方法	1
1-4	調査期間	2
1-5	回収結果	2
1-6	調査項目	2
1-7	調査結果の見方	2

第2章 アンケート調査結果

1	回答者の属性について	3
2	図書館の利用について	8
3	図書館に求めるものについて	10
4	図書館を利用しない理由について	16
5	集計結果のまとめ	19
参考	アンケート調査票	22

第1章 調査の概要

1-1 調査目的

教育振興基本計画策定に伴い、市民の利用目的や利用状況を調査し、また、これからの図書館に必要なサービスの向上や市民が期待する図書館サービスを把握するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査対象

市立図書館を除く、市内公共施設に来所した者のうち、中学生以上を対象とする。

1-3 調査方法

各施設にアンケート用紙及び回収箱を配置し回収するほか、図書館職員が行事（「プレママ・親子相談・交流会」等）に出向き、アンケート用紙を配布し回収する。

(配置・配布施設一覧)

市役所本館 1階総合案内（市役所）	志紀出張所（志紀） ※志紀コミュニティセンターを含む
龍華出張所（龍華） ※龍華コミュニティセンターを含む	緑ヶ丘コミュニティセンター（緑ヶ丘）
久宝寺出張所（久宝寺） ※久宝寺コミュニティセンターを含む	安中人権コミュニティセンター（安中）
西郡出張所（西郡） ※桂人権コミュニティセンターを含む	生涯学習センター（生セ）
大正出張所（大正） ※大正コミュニティセンターを含む	総合体育館（総体）
山本出張所（山本） ※山本コミュニティセンターを含む	屋内プール（屋プ）
竹渕出張所（竹渕） ※竹渕コミュニティセンターを含む	くらし学習館（くらし）
南高安出張所（南高安） ※南高安コミュニティセンターを含む	つどいの広場（つどい）
高安出張所（高安） ※高安コミュニティセンターを含む	社会福祉会館（社福）
曙川出張所（曙川） ※曙川コミュニティセンターを含む	

1-4 調査期間

令和2年1月8日（水）～2月29日（土）

1-5 回収結果

施設名	市役所	龍華	久宝寺	西郡	大正	山本	竹湊	南高安	高安	曙川
回収枚数	5	17	20	1	74	17	8	46	47	24

施設名	志紀	緑ヶ丘	安中	生セ	総体	屋プ	くらし	つどい	社福	合計
回収枚数	92	12	76	6	1	2	50	7	110	615

1-6 調査項目

調査項目は以下の通り

- | |
|--|
| 問1 回答者の属性について
(1) 性別
(2) 年代
(3) 職業
(4) 住所
問2 利用頻度
問3 他に利用する図書館
問4 図書館に求めるサービス
問5 図書館に求める資料
問6 図書館を利用しない理由 |
|--|

1-7 調査結果の見方

- ・図表のNは有効回答の総数である。％は全体（有効回答）に占める割合を示している。
- ・比率はすべて百分率（％）で示し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しているため、全体が100.0%とならない回答もある。
- ・複数回答とは1人が2つ以上の回答をしてもよい項目をいう。
- ・数値に関する記述は下記の基準に従っている。
(例) 約3割 29.1～30.9
3割強 31.0～34.0
3割半 34.1～35.9
4割弱 36.0～39.0
- ・無効回答について割合を出すとき、基本的に「わからない」又は回答がなかったものは母数に入れずに割合を出している。

第2章 アンケート調査結果

1 回答者の属性について

(1) 性別

問1 あなた自身についてお聞きします。

(1) 性別

①女性

②男性

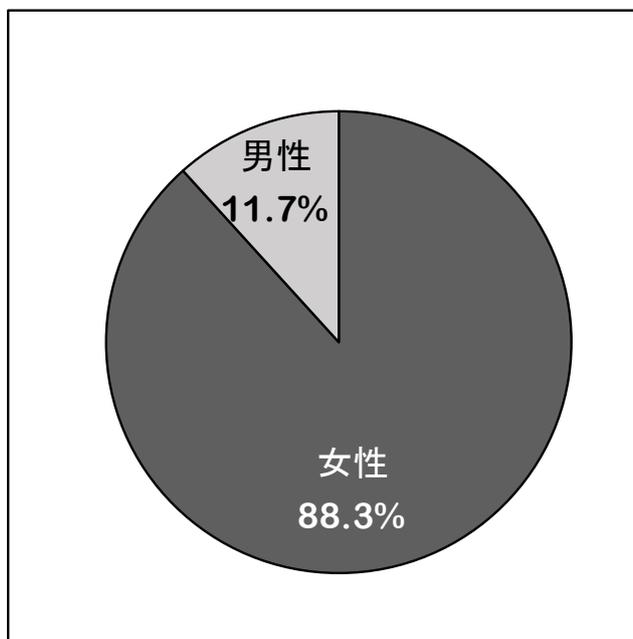
③性別を答えることに抵抗を感じる

女性の割合が高く、9割弱である。

表1 性別 回答数

項目	人数
女性	484
男性	64
性別を答えることに抵抗を感じる	1
無回答	66
合計	615

図1 性別 回答率 (N=548)



(2) 年代

問1 あなた自身についてお聞きします。

(2) 年代

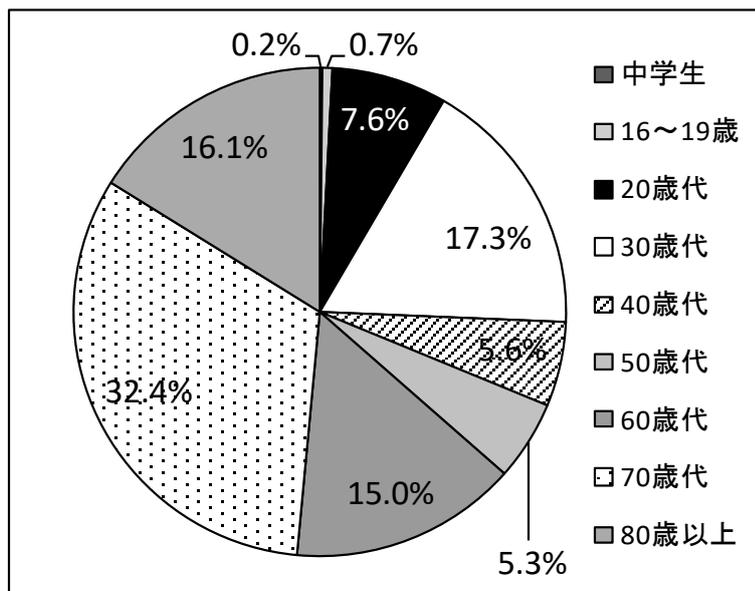
- ①中学生 ②16～19歳 ③20歳代 ④30歳代 ⑤40歳代
 ⑥50歳代 ⑦60歳代 ⑧70歳代 ⑨80歳以上

回答者の最も多い年代は、70歳代の32.4% (197人) である。次に30歳代の17.3% (105人) が続く。60歳代～80歳以上を合わせると63.5% (386人) であり高齢者の比率が高い。中学生と16～19歳を合わせた回答者は0.9% (5人) にとどまる。

表2 年代 回答数

項目	人数	項目	人数
中学生	1	50歳代	32
16～19歳	4	60歳代	91
20歳代	46	70歳代	197
30歳代	105	80歳以上	98
40歳代	34	無回答	7
		合計	615

図2 年代 回答率 (N=608)



(3) 職業

問1 あなた自身についてお聞きします。

(3) 職業

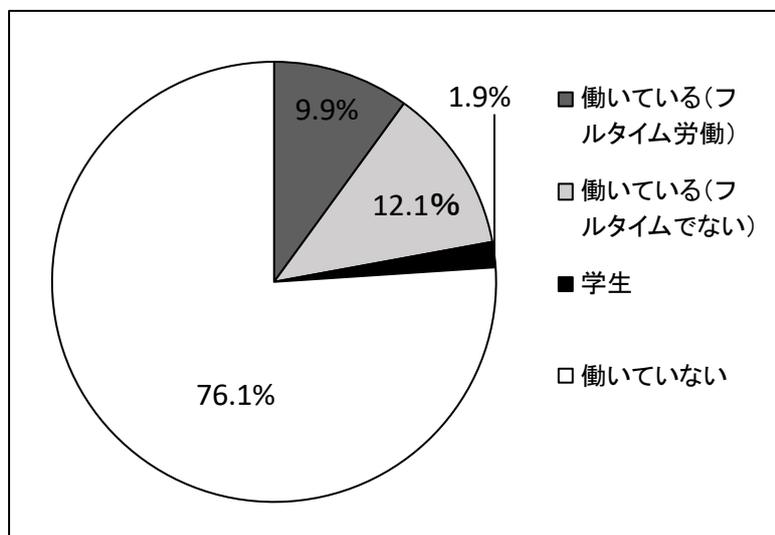
- ①働いている（フルタイム労働） ②働いている（フルタイムでない）
③学生 ④働いていない

回答者の76.1%（451人）が「働いていない」と回答している。

表3 職業 回答数

項目	人数
働いている（フルタイム労働）	59
働いている（フルタイムでない）	72
学生	11
働いていない	451
無回答	22
合計	615

図3 職業 回答率 (N=593)



(4) 住所

問1 あなた自身についてお聞きします。

(4) 住所

八尾市内にお住まいの方⇒八尾市 () 町

八尾市外にお住まいの方⇒ ①大阪市 ②東大阪市 ③柏原市

④その他 () 市・町・村

「八尾市 (南部地域)」が 35.0% (215 人) で最も多く、「八尾市 (西部地域)」23.6% (145 人)、「八尾市 (中部地域)」20.0% (123 人)、「八尾市 (東部地域)」14.6% (90 人) が続いている。

表4 住所 回答数

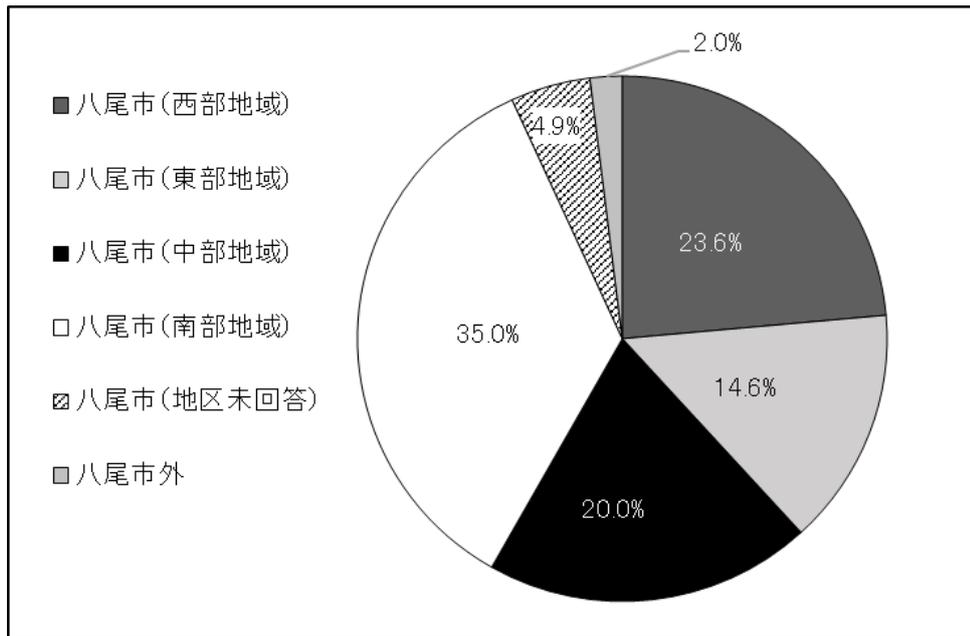
項目	人数	項目	人数
八尾市 (西部地域)	145	大阪市	1
八尾市 (東部地域)	90	東大阪市	3
八尾市 (中部地域)	123	柏原市	2
八尾市 (南部地域)	215	その他自治体	6
八尾市 (地区未回答)	30	合計	615

※地域区分については「八尾市都市計画マスタープラン」による地域区分を参照

【地域区分別の校区整理表】

地域区分	中学校区	小学校区	地域区分	中学校区	小学校区		
西部地域	成法中学校区	八尾小学校区	中部地域	上之島中学校区	山本小学校区		
		安中小学校区			上之島小学校区		
	八尾中学校区	用和小学校区		曙川南中学校区	曙川小学校区	刑部小学校区	
		長池小学校区				曙川東小学校区	
	久宝寺中学校区	久宝寺小学校区		曙川中学校区	南山本小学校区	高安西小学校区	
		美園小学校区				東中学校区	東山本小学校区
	桂中学校区	桂小学校区		東中学校区	西山本小学校区	高美中学校区	高美小学校区
		北山本小学校区					高美南小学校区
	東部地域	高安中学校区		高安小学校区	南部地域	亀井中学校区	竹湊小学校区
				南高安小学校区			亀井小学校区
南高安中学校区		南高安小学校区	龍華中学校区	龍華小学校区		永畑小学校区	
		大正中学校区				大正小学校区	
		大正北小学校区	志紀中学校区	志紀小学校区			

图4 住所 回答率 (N=615)



■ 地域区分図



2 図書館の利用について

(1) 利用頻度

問2 図書館の利用についてお聞きします。

八尾市の図書館（移動図書館を含む）を利用したことがありますか。

（ひとつだけ○）

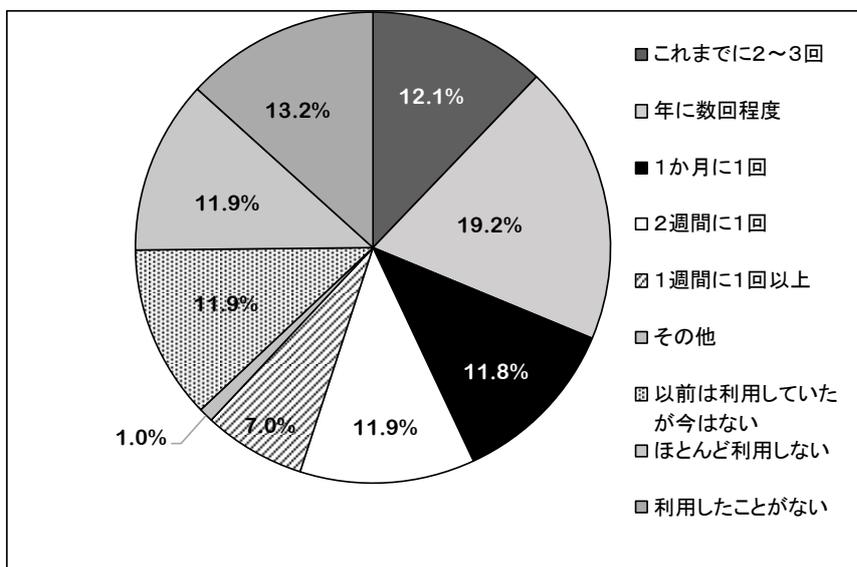
- ①これまでに2～3回 ②年に数回程度 ③1か月に1回
 ④2週間に1回 ⑤1週間に1回以上 ⑥ほぼ毎日
 ⑦その他（ ） ⑧以前は利用していたが今はない
 ⑨ほとんど利用しない ⑩利用したことがない

「年に数回程度」と回答した人が19.2%（116人）で最も多く、「利用したことがない」13.2%（80人）、「これまでに2～3回」12.1%（73人）が続いている。「利用したことがない」に「以前は利用していたが今はない」と「ほとんど利用しない」を合わせると37.0%（224人）になる。

表5 利用頻度 回答数

項目	人数	項目	人数
これまでに2～3回	73	その他（ ）	6
年に数回程度	116	以前は利用していたが今はない	72
1か月に1回	71	ほとんど利用しない	72
2週間に1回	72	利用したことがない	80
1週間に1回以上	42	無回答	11
ほぼ毎日	0	合計	615

図5 利用頻度 回答率 (N=604)



(2) 他に利用する図書館

- 問3 八尾市の図書館以外で利用する図書館はありますか？（いくつでも○）
- ①大阪府立図書館 ②大阪府内の市立図書館 ③大阪府外の図書館
 ④学校の図書館 ⑤図書館は利用しない ⑥その他（ ）

「図書館は利用しない」の回答が65.8%（237人）で最も多い。他に利用する図書館では、「大阪府内の市立図書館」が最も多く13.1%（47人）であり、「大阪府立図書館」9.2%（33人）が続いている。

表6 他に利用する図書館 回答人数

項目	人数
回答あり	360
無回答	255
合計	615
総回答数	374

表7 他に利用する図書館 回答数

	回答数	回答者に 占める割合 (%)
大阪府立図書館	33	9.2
大阪府内の市立図書館	47	13.1
大阪府外の図書館	20	5.6
学校の図書館	10	2.8
図書館は利用しない	237	65.8
その他	27	7.5

図6 他に利用する図書館 回答数 (N=374)

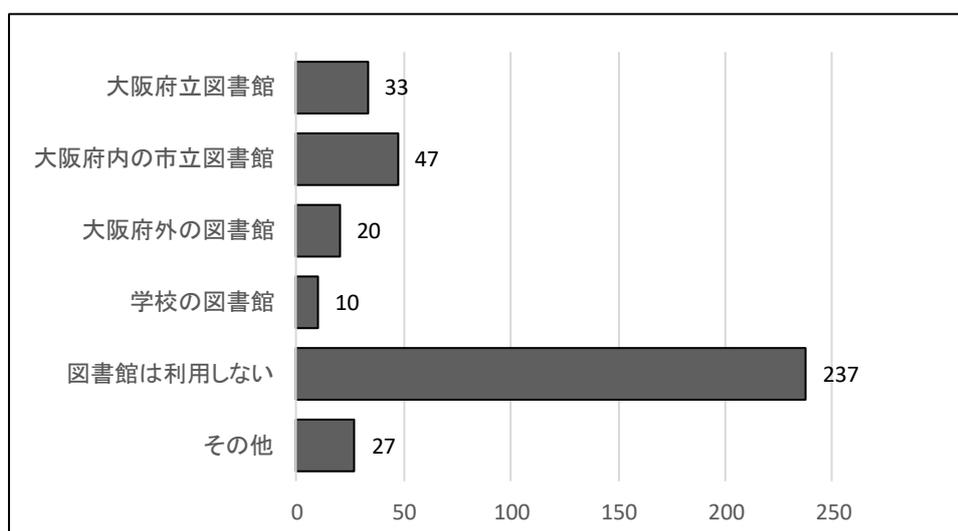
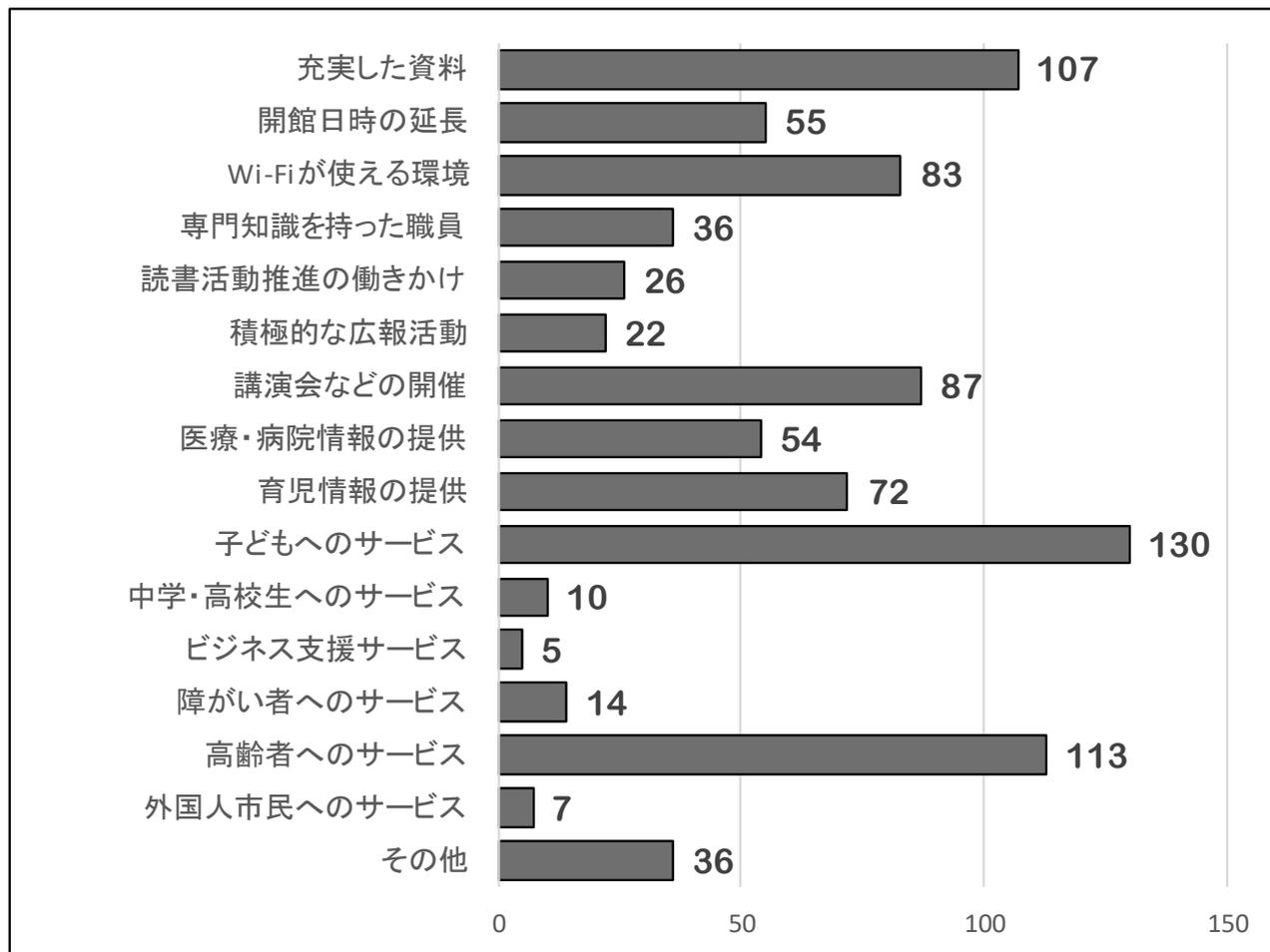


表9 図書館に求めるサービス 回答数

項目	回答数	回答者に 占める割合 (%)
充実した資料	107	23.5
開館日時の延長	55	12.1
Wi-Fiが使える環境	83	18.2
専門知識を持った職員	36	7.9
読書活動推進の働きかけ	26	5.7
積極的な広報活動	22	4.8
講演会などの開催	87	19.1
医療・病院情報の提供	54	11.9
育児情報の提供	72	15.8
子どもへのサービス	130	28.6
中学・高校生へのサービス	10	2.2
ビジネス支援サービス	5	1.1
障がい者へのサービス	14	3.1
高齢者へのサービス	113	24.8
外国人市民へのサービス	7	1.5
その他	36	7.9

図7 図書館に求めるサービス 回答数 (N=857)



(2) 図書館に求める資料

問5 図書館の資料（本・雑誌など）について、どのようなものがあればよいと思いますか。また（もっと）利用しますか。（3つまで○）

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| ①新しい本や雑誌 | ②小説やエッセイ |
| ③専門書（その分野の実務書） | ④実用書（旅行、料理、健康など） |
| ⑤子育て関連の本 | ⑥資格をとるための本 |
| ⑦辞典・辞書など調べるための本 | ⑧視聴覚資料（CD・DVDなど） |
| ⑨郷土や行政に関する本 | ⑩絵本や児童書 |
| ⑪中学・高校生のための本 | ⑫外国語で書かれた本 |
| ⑬大活字本・点字本・朗読資料 | |
| ⑭新聞記事、法律、辞典などの商用データベース | |
| ⑮電子情報サービス（図書館所蔵の古い郷土資料などをネットで公開） | |

最も回答が多いのは「新しい本や雑誌」で、回答者の63.1%（258人）が答えている。「実用書」35.0%（143人）、「絵本や児童書」25.9%（106人）が続いている。

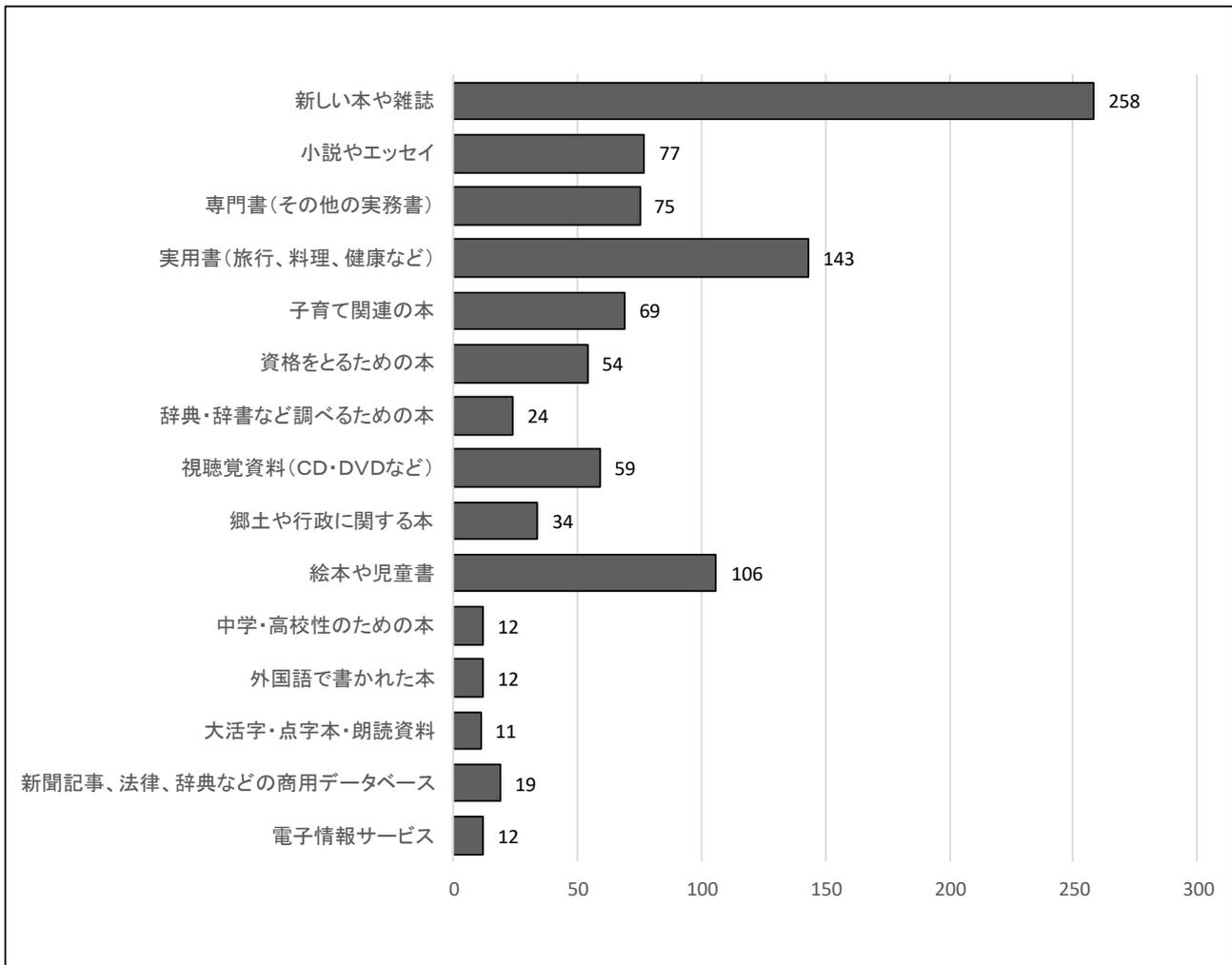
表10 図書館に求める資料 回答人数

項目	人数
回答あり	409
無回答	206
合計	615
総回答数	965

表 11 図書館に求める資料 回答数

項目	回答数	回答者に 占める割合 (%)
新しい本や雑誌	258	63.1
小説やエッセイ	77	18.8
専門書 (その分野の実務書)	75	18.3
実用書 (旅行、料理、健康など)	143	35.0
子育て関連の本	69	16.9
資格をとるための本	54	13.2
辞典・辞書など調べるための本	24	5.9
視聴覚資料 (CD・DVDなど)	59	14.4
郷土や行政に関する本	34	8.3
絵本や児童書	106	25.9
中学・高校生のための本	12	2.9
外国語で書かれた本	12	2.9
大活字本・点字本・朗読資料	11	2.7
新聞記事、法律、辞典などの商用データベース	19	4.6
電子情報サービス (図書館所蔵の古い郷土資料などをネットで公開)	12	2.9

図8 図書館に求める資料 回答数 (N=965)



4 図書館を利用しない理由について（問2で⑧～⑩と回答した人が対象）

問6 八尾市の図書館を利用しない理由は何ですか。（3つまで○）

- ①場所を知らない ②興味がない ③いそがしい
- ④自分の子どもが小さい ⑤緊張する雰囲気だから ⑥本はあまり読まない
- ⑦交通の便が悪い ⑧本・雑誌は買って読む ⑨本を返すのが面倒
- ⑩利用したい本がない ⑪開館時間が合わない ⑫図書館まで遠い
- ⑬古い本は読みたくない ⑭図書館に読みたい本がない ⑮高齢や病気で行けない
- ⑯十分な駐車場がない ⑰インターネットで情報を得られる
- ⑱育児・介護で行けない ⑲職場や学校の近くの図書館を利用する
- ⑳その他（ ）

最も回答が多いのは「いそがしい」で、回答者の31.2%（54人）が答えている。「図書館まで遠い」22.5%（39人）、「本はあまり読まない」20.2%（35人）が続いている。

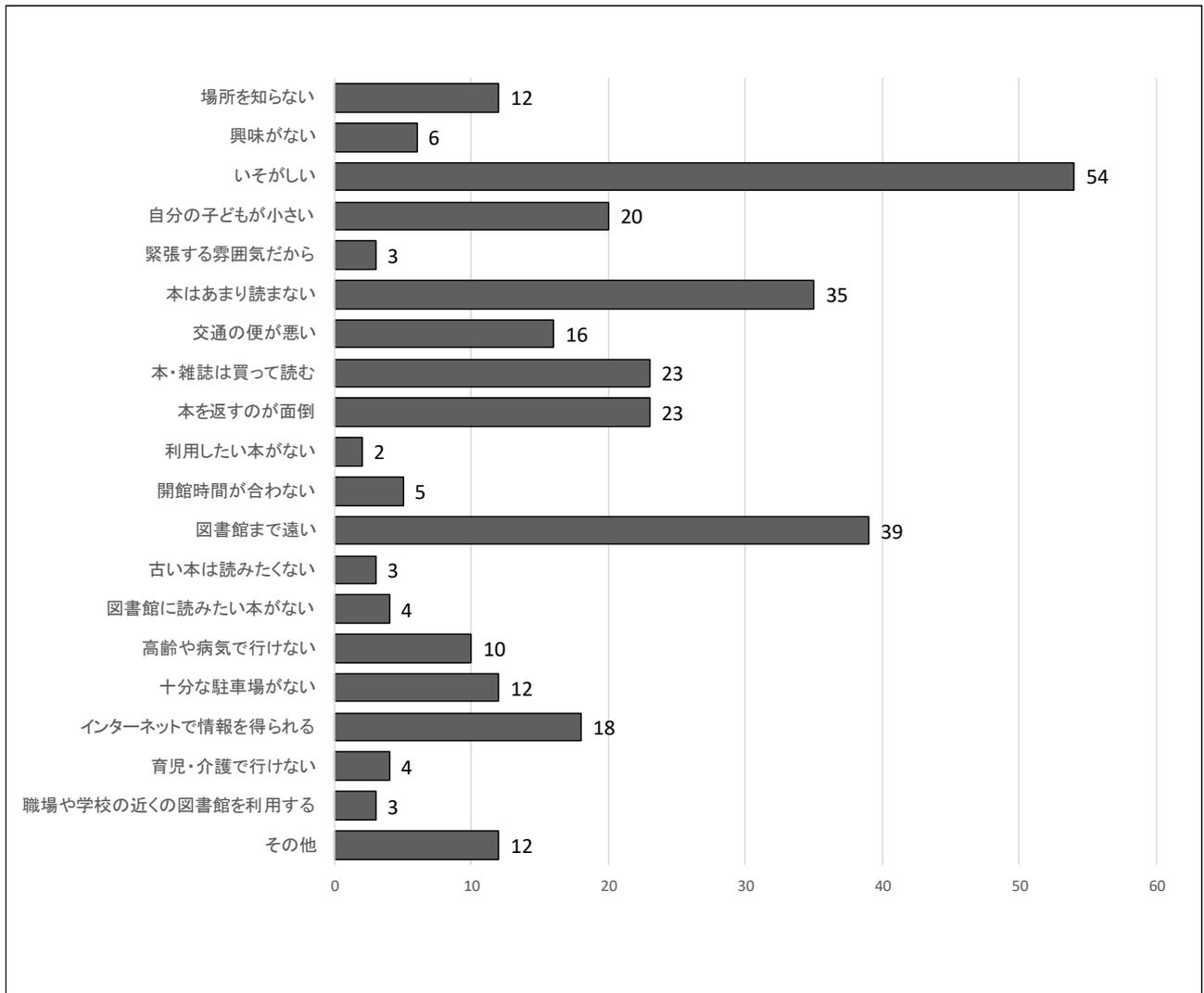
表12 図書館を利用しない理由 回答人数

項目	人数
該当者数	224
回答あり	173
無回答	51
合計	224
総回答数	304

表 13 図書館を利用しない理由 回答数

項目	回答数	回答者に 占める割合 (%)
場所を知らない	12	6.9
興味が無い	6	3.5
いそがしい	54	31.2
自分の子どもが小さい	20	11.6
緊張する雰囲気だから	3	1.7
本はあまり読まない	35	20.2
交通の便が悪い	16	9.2
本・雑誌は買って読む	23	13.3
本を返すのが面倒	23	13.3
利用したい本がない	2	1.2
開館時間が合わない	5	2.9
図書館まで遠い	39	22.5
古い本は読みたくない	3	1.7
図書館に読みたい本がない	4	2.3
高齢や病気で行けない	10	5.8
十分な駐車場がない	12	6.9
インターネットで情報を得られる	18	10.4
育児・介護で行けない	4	2.3
職場や学校の近くの図書館を利用する	3	1.7
その他	12	6.9

図9 図書館を利用しない理由 回答数 (N=304)



5 集計結果のまとめ

(1) 回答者の属性について (問1)

回答者のプロフィールを概観すると、性別については、女性の割合が男性よりも高く 88.3% (484 人) と 9 割弱である。

年代については、70 歳代が 32.4% (197 人) と最も多く、次に 30 歳代が 17.3% (105 人)、80 歳以上が 16.1% (98 人)、60 歳代が 15.0% (91 人)、20 歳代が 7.6% (46 人) と続いている。30 歳代の割合が高いのは、各コミュニティセンターでの「プレママ・親子相談・交流会」(妊娠中の方や就園前の乳幼児と保護者を対象とした子育て支援事業) でアンケートを実施 (146 人) したことによるところが大きい。中学生と 16~19 歳を合わせた回答者は 0.9% (5 人) にとどまり、20 歳代~50 歳以上では 35.8% (217 人)、60 歳代~80 歳以上では 63.5% (386 人) であり高齢者の比率が高い。

職業については、「働いていない」が 76.1% (451 人) と 8 割弱を占め、「働いている (フルタイムでない)」が 12.1% (72 人)、「働いている (フルタイム労働)」が 9.9% (59 人)、学生が 1.9% (11 人) で続いている。

住所については、「八尾市 (南部地域)」が 35.0% (215 人) で最も多く、「八尾市 (西部地域)」が 23.6% (145 人)、「八尾市 (中部地域)」が 20.0% (123 人)、「八尾市 (東部地域)」が 14.6% (90 人) で続いている。この 4 地域のうち、市内 4 つの図書館 (八尾・山本・志紀・龍華) がない地域は、「八尾市 (東部地域)」である。

(2) 図書館の利用について (問2、問3)

図書館の利用頻度については、「年に数回程度」が 19.2% (116 人) で最も多く、「利用したことがない」13.2% (80 人)、「これまでに 2~3 回」12.1% (73 人) が続いている。「利用したことがない」に「以前は利用していたが今はない」と「ほとんど利用しない」を合わせると 37.0% (224 人) になる。「2 週間に 1 回」は 11.9% (72 人)、「1 週間に 1 回以上」は 7.0% (42 人)、「ほぼ毎日」は 0.0% (0 人) であり、この 3 つを合わせると 18.9% (114 人) になる。この 18.9% に「これまでに 2~3 回」「年に数回程度」「1 か月に 1 回」を合わせると、近い過去に図書館を利用した人として 62.0% (374 人) になる。

地域での利用頻度については、図書館のある 3 地域 (「八尾市 (南部地域)」)、「八尾市 (西部地域)」)、「八尾市 (中部地域)」と図書館のない「八尾市 (東部地域)」で比較すると、図書館のある 3 地域では、「利用したことがない」に「以前は利用していたが今はない」と「ほとんど利用しない」を合わせると 33.1% (158 人) であるが、図書館のない「八尾市 (東部地域)」で、「利用したことがない」に「以前は利用していたが今はない」と「ほとんど利用しない」を合わせると 57.8% (52 人) であり、24.7% の差がある。

4 つの図書館 (八尾・山本・志紀・龍華) 利用者へのアンケート (『令和元 (2019) 年度図書館利用者アンケート調査報告書』) では、「2 週間に 1 回」が 40.3% (421 人) で最も多く、次に「1 週間に 1 回以上」30.7% (320 人) である。「ほぼ毎日」4.1% (43 人) を含めた 3 つを合わせると 75.1% (784 人) になり、本アンケートと比較して 56.2% 多くなっている。

なお、『令和元年度八尾市民意識調査報告書』（住民基本台帳から無作為抽出した八尾市在住の18歳以上の市民3,000人（男女各1,500人）に調査し、有効回答1467票）をみると

「八尾市の公共施設をこの1年間でどれだけ利用しましたか」という問いに対して、図書館は34.4%で「市役所庁舎」69.1%の次に多くなっている。また「利用している人」の過去1年間の利用回数についてみると、調査対象の他の公共施設も「年に数回（1～5回）」の回答が最も多くなっており、図書館は57.5%である。

他に利用する図書館については、「図書館は利用しない」の回答が65.8%（237人）で最も多い。他に利用する図書館では、「大阪府内の市立図書館」が最も多く13.1%（47人）であり、「大阪府立図書館」9.2%（33人）が続いている。「学校の図書館」は、2.8%（10人）である。

（3）図書館に求めるものについて（問4、問5）

図書館に求めるサービスについては、「子どもへのサービス」が28.6%（130人）で最も多く、「高齢者へのサービス」24.8%（113人）、「充実した資料」23.5%（107人）、「講演会などの開催」19.1%（87人）が続いている。「子どもへのサービス」や「高齢者へのサービス」が多いのは、回答者のプロフィールから子育て世代や高齢者世代が多いことが理由であろう。同じ人でも年代により求めるサービスが変化していくものであり、世代・年代や利用者に応じたサービスを実施していくことが大事である。資料の充実を求める人が多いのは、4つの図書館利用者へのアンケートでも同様である。

図書館に求める資料については、「新しい本や雑誌」が63.1%（258人）で最も多く、「実用書」35.0%（143人）、「絵本や児童書」25.9%（106人）、「小説やエッセイ」18.8%（77人）、「専門書」18.3%（75人）が続いている。4つの図書館利用者へのアンケートでもこれらの項目は上位を占めており、ほぼ同じような傾向となっている。

「講演会などの開催」についてみると、4つの図書館利用者へのアンケートでは「おはなし会、講演会、講座などのイベント」についての満足度（「満足」「やや満足」「丁度よい」の合計88.2%（390人））は高いものの、無効回答数（「わからない」「無回答」の合計58.5%（623人））も多くなっている。「講演会などの開催」についての需要を満たす取組が求められる。

（4）図書館を利用しない理由について（問6）

問2で図書館を「利用したことがない」「以前は利用していたが今はない」「ほとんど利用しない」と回答した人に図書館を利用しない理由を尋ねたところ、「いそがしい」が31.2%（54人）で最も多く、「図書館まで遠い」22.5%（39人）、「本はあまり読まない」20.2%（35人）「本・雑誌は買って読む」と「本を返すのが面倒」が13.3%（23人）、「自分の子どもが小さい」11.6%（20人）、「インターネットで情報を得られる」10.4%（18人）が続いている。

これを大きく分けると、利用する必要がないと考える人と利用したいが出来ない人に区分されると考えられる。『令和元年度八尾市民意識調査報告書』では、「（図書館を）利用しなかった理由」をたずねているが、調査対象の他の公共施設も「利用する必要がない」の回答が最も多くなっており、図書館は66.9%である。

「図書館まで遠い」に対しては、移動図書館や電子図書館の充実やPR、その他サービスの

充実をはかることが求められる。「本はあまり読まない」に対しては、まず図書館に足を運びたくなるようなイベントの充実や、子どもの時期からの読書習慣の形成が大切と考えられるので、子ども読書活動の推進の取組を進めていくことが求められる。「本・雑誌は買って読む」に対しては、図書館での魅力ある資料の充実が求められる。

その他の利用しない理由に対しても、図書館として資料の充実をはじめ講演会などの開催や様々な工夫を行っていき、多くの人が図書館を利用しやすいように、また、利用したいと思っていただけるようにしていくことが求められる。

令和元（2019）年度
図書館利用アンケート調査（館外）
報告書

発行 令和2年（2020年）11月

編集・発行 八尾市立八尾図書館

〒581-0003 大阪府八尾市本町二丁目2番8号

TEL (072)993-3606

FAX (072)923-2937

刊行物番号 R2—122

